



よどマガ! × ザ・淀川



連携企画 学校ボランティア募集大作戦!

合言葉は“学ボラ”

知っていますか?

みなさんのお近くの小中学校では、たくさんのボランティアさんが活躍しているんです。

読書の読み聞かせや、部活動の支援など、活躍の仕方はさまざま。

学校で子どもたちと触れ合いながら、いきいき活動できる場所、あなたも見つけてみませんか?!

ザ・淀川の乃美です。淀川区で活躍するボランティアさん取材してきました。子どもたちと楽しそうに話し、先生と情報交換する姿が印象的でした。



乃美 夏絵(のうみ なつえ)さん
淀川区の今と昔と未来を結ぶコミュニティ新聞、「ザ・淀川」編集長。学校・家庭・地域をつなぐ情報や、まちづくり、文化、地域史など、住民主体のニュースを発信しています。



取材していて実感したのは、皆さん、無理なく活動されているということ。学校ボランティアの内容は多岐に渡りますので、時間帯や得意分野を切り口に、まずは覗いてみませんか?仲間が増え、学校がぐっと身近になりますヨ。
ザ・淀川1月号の4・5ページでも紹介しています。ぜひご覧ください!



こちら新東三国小学校。昼休み、校庭で元気に遊ぶ子どもたちを見守る山中弥さん。「日課になっています。子どもが好きなんですなあ」と山中さん。取材をしていると、挨拶に来る子どもたち。別のボランティアの方に「今日、髪がた違う。何かあるん?」と話しかけている子も。



こちらは加島小学校で学習補助ボランティアを行う篠原真奈さん。活動の場は放課後だけではありません。授業中、先生の指導を見ながら児童一人ひとりに目を配り、学習を支援しています。休み時間も児童に声をかけられ忙しくも楽しそう。「机上では学べない有意義な時間です」と篠原さん。

淀川区役所でも、学校ボランティア登録を受け付けています! 登録～ボランティア活動のながれ



①区役所担当へ登録申込
(詳細はHPへ)



②区役所から学校へ情報提供



③ボランティアの受け入れを希望する小中学校から、登録者本人へ依頼があります

申込問合せ市民協働課 4階41番 学ボラ係
✉yodo-bora@city.osaka.lg.jp
☎6308-9416 ☎6885-0535

淀川区 学ボラ 検索

淀川区役所 × NPO ノーベル協働事業

おうち訪問型病児保育を突撃レポート!

働く親の大きな悩みである「子どもの急な病気」。仕事の都合はおかまいなしに、熱を出したりおう吐したり。病児保育ってどうなの?の疑問・不安にお答えします!

ふたりっきりの空間。
日中どのように過ごしているか不安…



◀保育中は保育スタッフと本部が連携をとり、お子さんの様子(機嫌、食事・水分量等)を細かく記録し、保護者からの問合せに答えられる体制になっている。

利用者の声

非常に細やかな配慮をしていただき、記録も非常に丁寧に、わかりやすく書いていただいているので、いつも安心して働いています。息子もご機嫌な1日でした。帰宅したときの子どもの表情が普段の保育所の時と全然違って楽しそうにいきまっていたので、1日しっかり相手をしてくださったことが分かりました。



詳細はホームページへ

ノーベル 病児保育 検索

<http://nponobel.jp/service/yodogawa/>



編集後記

防災特集でご紹介した神崎川流域合同防災訓練に行ってきました。中学生防災隊のみんなは取材ノートと鉛筆を持って一生懸命メモを取っていました。自分が中学生の頃には防災について考えた事などありませんでしたが、訓練に参加している生徒さんたちを見て、防災について自分もできる事から始めようと思った今日この頃です。今度の週末に家族防災会議を開こうかな。(広報担当)



▲メモを片手に取材中

【広報誌の配布方法】 区広報誌「よどマガ!」は、毎月1日(休刊日は翌日)の新聞(朝日・毎日・読売・産経・日本経済・大阪日日新聞)朝刊に折込でお届けしています。また、淀川区ホームページ(<http://www.city.osaka.lg.jp/yodogawa/>)でもご覧いただけます。これらの新聞を購読されていない方で、配送をご希望の場合は、お申出ください。ただし、配送には数日間かかる場合があります。点字・音訳版もあります。申込は、淀川区役所政策企画課(☎6308-9404)まで。